



学校だより

北海道中札内高等養護学校幕別分校

令和5年6月23日(金)

第 2 号

〒089-0615 中川郡幕別町南町 81 番地 1

電話 0155-55-2121

FAX 0155-55-2122

コロナ禍からの幕開け 11年目の幕別分校

教頭 高田博文

日頃より本校の教育活動に対しまして御理解、御協力をいただきありがとうございます。

改めまして、今年4月より紋別高等養護学校より幕別分校へ赴任しました教頭の高田です。私は職業柄、転勤が多く、居住地が函館市から滝上町→再び函館市→占冠村→紋別市→遠軽町→札幌市→恵庭市→紋別市(2度目)→幕別町と転々としております。十勝に住むのは今回が初めてですが、十勝には職員旅行やプライベートでも何度も来たことがあります。それぞれの土地にはそれぞれの文化がありますが、地域に根差した独自の食文化があるところや、あちこちに温泉があるところなど、故郷函館と似ているところがあり、移住してまだ2か月あまりですが長年住んでいるかのような感覚でおります。また、日高山脈を望む雄大な風景や人の温かさに触れ、日々この土地の魅力を感じているところです。

幕別分校の話に移ります。幕別分校は現在27名の生徒が在籍しており、道内の特別支援学校では教室が足りなくて困っているところが多いのですが、旧幕別高校の4階建ての校舎と広い敷地を伸び伸びと使い、大変恵まれた環境で学んでおります。

さて、5月8日より新型コロナウイルス感染症が5類に移行となりました。幕別分校では、教育活動をコロナ禍前に戻し、今まで制約されていた学習活動や行事を可能な限り実施していきたいと考えております。7月に行われる学校祭ではキッチンカーを呼び、保護者や地域の方々にも制限なく来校していただき、模擬店やステージ発表などを公開する予定でありますし、生徒も外部に出て、地域の皆さんとたくさん交流したいと考えております。今の生徒にとっては数年ぶり、もしくは初めて体験することもあるので戸惑ったり御迷惑をお掛けしたりすることもあるかもしれません。そこは温かい目で見守っていただき、コロナ禍から幕開けする新たな幕別分校を今後ともよろしく願っています。

2学年 春の現場実習

5月22日～6月2日の日程で2学年は現場実習を行いました。1年生の時から大幅にステップアップし、2年生の実習では生徒1人で2週間各実習先での働く経験をしてきました。実習先は飲食業や製造業など様々な生徒によって職種は様々でしたが、色々な仕事を体験させていただきました。

2年生の実習では自分から積極的に職員の方に相談したり、質問したりすることが求められます。与えられたことだけをやるのではなく、自分から仕事を見つけることが大切になります。

この2週間で働く楽しさや厳しさを体験しましたが、自分に適した仕事について今後考えていき、秋の現場実習や3年生での前提実習に向けて準備を進めていきましょう。2週間御協力をいただいた各事業所及び保護者の皆様方、本当にありがとうございました。

2学年主任 山下 透



3学年 労働週間

3年生は清掃活動を中心に5月29日から6月2日の5日間、労働週間を行い校内各教室や実習棟全体の床のワックス掛けや窓清掃を行いました。また、町内の施設、寿町近隣センターと鉄南ふれあい交流館、JR 幕別駅やパークプラザなど日頃からお世話になっている場所などをみんなで協力して清掃を行いました。

3年生は8月から前提実習があり、今の自分の気力や体力、作業力を試す良い期間になりました。それぞれの成果や課題を再確認しながら進路実現に向けて頑張っていきたいと思います。

3学年作業担当 松橋 眞

(実習棟のワックス掛け)

(寿町近隣センター清掃)



(校内のワックス掛け)

(播種作業)

(みんなで駅まで移動)

